

大会開催における感染拡大予防ガイドライン

東海学生ソフトテニス連盟

会長 小山 哲

理事長 山田 隼大（中京大学）

副理事長 林 和輝（中京大学）

1. はじめに、本ガイドラインは日本ソフトテニス連盟が発出したガイドラインに沿って作成しております。今後の知見集積および各地域の感染状況を踏まえて、隨時見直しを行いますのでご留意ください。

2. 大会・イベント再開にあたって基本的な考え方について

・各地区学連（愛知、岐阜、三重、静岡）についても各都道府県の方針に従うことが前提ですので開催の判断に迷われた際は、施設が所在する都道府県のスポーツ主管課等に基づき適切な判断をするこ

・大会、イベント等については各都道府県の方針に反しない形で適切な感染防止対策（後述

「3. 大会・イベント開催・実施時の感染防止策について」参照）を講じた上でそれらのリスクの判断を行い、感染拡大のリスクの低い活動については注意しながら実施する。また、その場合でも当面の間、急激感染拡大への備えと「三つの密」を徹底的に回避するための対策を取ることは必要である。

・万が一、当学連および各地区学連主催の大会等の開催により新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した場合、大会を即座に中止する。また、当学連を通じて各都道府県連盟および日本ソフトテニス連盟に報告する。3. 大会・イベント開催・実施時の感染防止策について【感染予防策】は都道府県の方針に反しないことを前提として、参加者が大会・イベントに安全・安心に参加できるよう、主催者（主管団体）が運営に当たり留意すべき感染防止の事項を取りまとめたものである。

3. 大会・イベント開催・実施時の感染防止策について

【感染予防策】

(1) 参加募集時の主催者（主管団体）の対応

- ① 大会・イベント参加募集に際して感染拡大防止のために参加者が損修すべき事項を明確にしてガイドラインに記載し協力を求める。なお、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から大会の途中退場を求める場合があることを周知する。
- ② 発熱（37.5度以上）や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いたるさや倦怠感および味覚嗅覚を感じない等の症状を訴える者の参加は認めない。
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ④ 同郷家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。

⑤大会・イベント参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合があることを周知する。

(2) 主催者（主管団体）の対応

① 参加者・運営スタッフの検温結果など下記内容をまとめたシートを作成し、大会・イベント当日に提出させること。

・氏名、住所、連絡先（電話番号）・当日の体温・当日2週間前までにおける発熱などの感染症状有無・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合、あるいは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された場合。

② 選手、関係者、運営スタッフには会場に入る際、必ずマスクを着用させること。

③ 受付場所、練習場所および試合会場には消毒液など配備をすること。

④ 大会開催の際は、選手ならびに関係者の密集リスクを回避する工夫すること。

⑤受付場所、練習場所を換気の良い場所に設置するなど、選手ならびに関係者の密集・密閉のリスクを回避すること。

⑥感染予防対策を優先し、試合に支障がない開会式・表彰式を省略するなど、大会運営における慣例や慣習を見直す工夫をはかること。

⑦エール交換や声を合わせての応援を禁止する。声を出す応援なども極力控えるように協力をお願いすること。

⑧更衣室やトイレ、待機スペース、役員控え室などは広さにゆとりを持たせ、一度に入室できる人数を制限するなど、他の参加者と密になることを避けること。また換気扇を常に回す、換気用の小窓を開けるなど換気に配慮すること。

⑨コートの出入りの際、コート入り口に設置してあるアルコールで消毒するようアナウンスをすること。

⑩会場の手すりやドアノブなど接触の多いとされる箇所を定期的に消毒すること。

⑪会場の入り口を1カ所だけにするなど工夫をして、可能な限り会場の途中入退場をさせないこと。

⑫感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることができないように配慮すること。

(3) 参加者の対応

① 参加者は大会・イベント開始前に検温をし、その他必要事項を運営側に報告すること。

② 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが試合の前後ではマスクを着用すること。

③ 会場内では他人との距離を2メートル確保すること、またコート内においてもできるだけ2メートルを確保する努力するとともにペアで話をする際には対面しないようにすること。

- ④ 試合前のアップおよび試合において選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えること。
- ⑤ 試合開始前の挨拶、トス及び試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと。また試合後の選手間での握手も禁止とすること。
- ⑥ ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
- ⑦ 団体戦においてコートに入場できるのは対戦する選手と、ベンチコーチの監督のみとし、待機選手はコート外で一定間隔を保ち応援すること。
- ⑧ 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意しチーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと。
- ⑨ チーム内などにおいて感染者が発生した場合はチームを活動停止するとともに大会への出場を中止し関係者に連絡すること。
- ⑩ 試合終了後、選手および審判員は速やかに手洗いうがいをする。
- ⑪ 審判員は試合の前後で必ず消毒を行い、整列時も選手との距離を取る。
- ⑫ 感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないよう配慮すること。
- ⑬ 対抗戦で、選手、監督、マネージャーのコートに入れる人数を制限する。